● 取組事例詳細

企業/団体名称	一神商事株式会社
主要業種	飲食料品卸売業

公開日:2011年03月18日

「協働の着眼点」に照らした取組内容(「ベーシック16」)

1 お客様を基点とする企業姿勢の明確化

賞味期限の重視・・・鮮度の向上。

破損、汚損の確認重視。

欠品商品の防止。

MDの提案・・・新商品、新規格、話題商品など。

2 コンプライアンスの徹底

各、法律に遵守した商品の販売、開発。

生産地、工場の環境確認をできるかぎり行う。

社内に関するコミュニケーション

3 安全かつ適切な食品の提供をするための体制整備

商品情報の内容確認。

メーカーとの信頼向上を図る。

4 調達における取組

メーカー環境、工場環境、配送状況、保管状況の確認。

5 製造における取組(製造)

保管・流通における取組(卸売)

調理・加工における取組(小売)

PB商品については品質重視で、できる限り、国産原料を使用し、無添加、が基本。 農産物原料については、減農薬、無農薬、科学肥料未使用を基本。

6 販売における取組

鮮度の新しい商品を届けられるように、基準を設け、日々チェックを行っている。

取引先に関するコミュニケーション

7 持続性のある関係のための体制整備

営業単位で業務改革を進めている。

8 取引先との公正な取引

取引交渉は、常に正論から見て望んでいる。

9 取引先との情報共有、協働の取組

取引先よりの情報提供は先方よりの配信で常に行っている。

ルーチン業務として、販売促進、商品提案は要望している。

お客様に関するコミュニケーション

10 お客様とのコミュニケーションのための体制整備

営業単位で個々の得意先様とのコミュニケーションをとっている。

111 お客様からの情報の収集、対応、管理

営業単位で毎週、要望を伺い、対応している。

12 お客様への情報提供

メーカー情報の提案をおこなっている。

当社、独自MDの提案を行っている。

また、最終消費者のお客様には、弊社のブランド「異屋」の通販サイトと実店舗を通じ、1賞味期限による 鮮度管理の徹底、2商品表示によるコンプライアンスの徹底、3新商品の商品特徴などの提示、などを行っている。

13 食育の推進

得意先様へは提案を行っているが、実績になかなか結び付かず試行錯誤している状況。

緊急時に関するコミュニケーション

14 緊急時を想定した自社体制の整備

社内、緊急連絡網を準備し、現場から社長まで報告される仕組みをとっている。

15 緊急時の自社と取引先の協力体制の整備

会社としてメーカー、生産地、と、緊急パイプラインととっている。

16 緊急時のお客様とのコミュニケーション体制の整備

担当営業、代行営業単位で得意先様への緊急パイプラインをとっている。